

M16CTiny Board with MMC I/F



免責事項

本製品の使用における如何なる損害、事故においても責任を負いません。

本製品は組み立てキットです。

本製品にコネクタ類、カードソケット、一部部品は付属しません。

1.はじめに

本製品は、Renesas 製マイコン M16CTiny(M16C/26)を搭載したマイコンボードです。
別途 MMC(SD)カードソケットを取り付けることができます。

特徴

- 高速高性能な M16CTiny マイコン(M30262F8GP)を搭載。
- 32mm x 30mm の超小型サイズ。
- MMC(SD)カードソケットを搭載可能。
- E8/E8a I/F を搭載しているため、デバッガとの接続が容易。
- 最小限の追加部品により、アプリケーションに最適な回路を構成できる。

CPU 概要

- ROM64KByte+4KByte, RAM2KByte
- 最高動作周波数 20MHz(VCC 3V ~ 5V)
- 各種制御に最適なペリフェラル

2.ボード概要

キットは図 1 のような部品構成になっています。

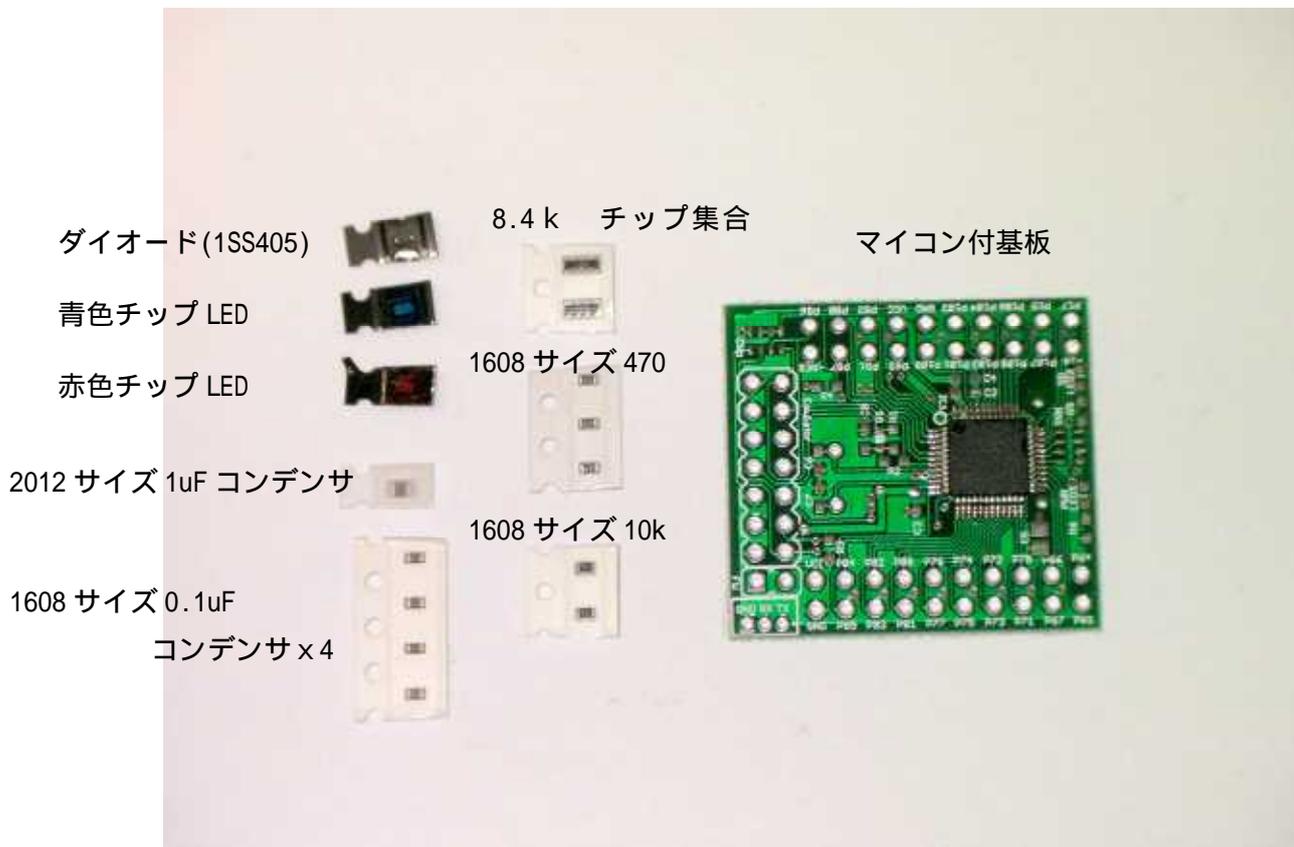
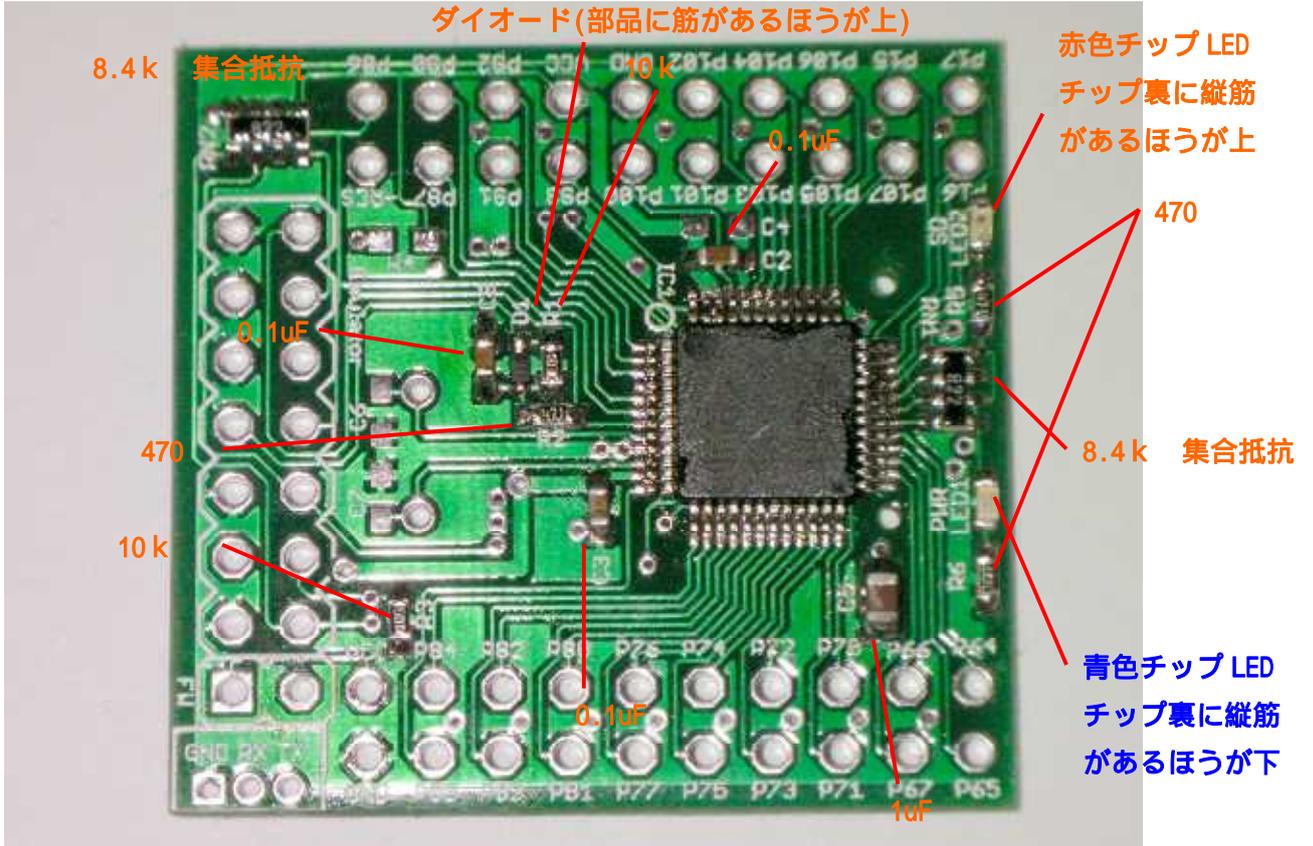


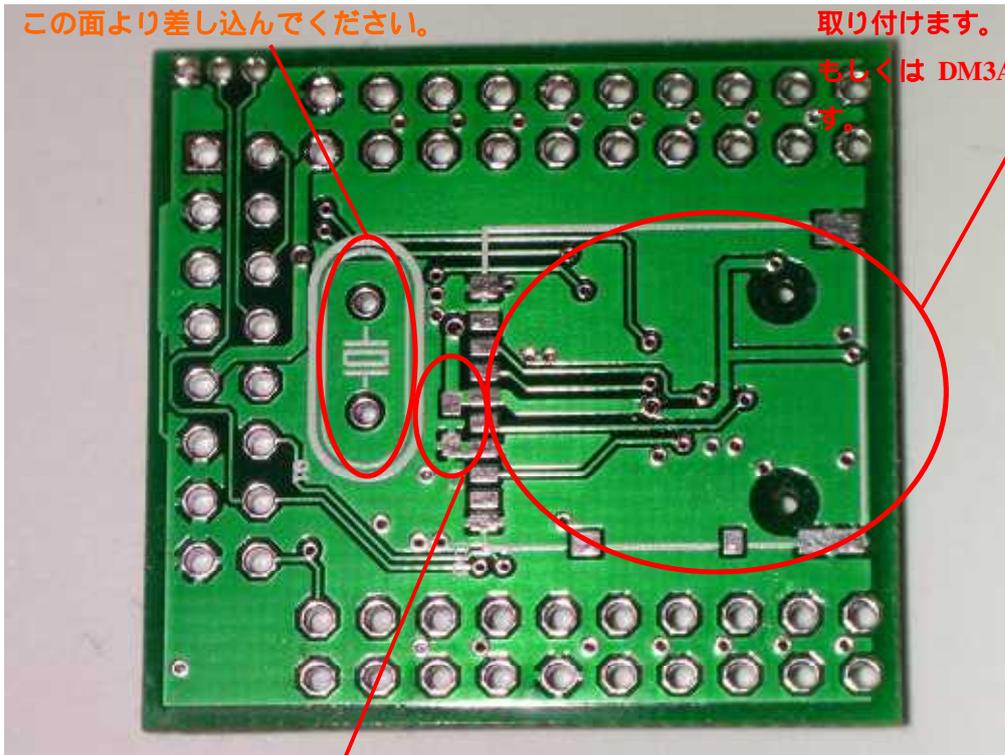
図 1.本キットの同梱部品

3 組み立て方法



水晶発振子を使用する場合は
この面より差し込んでください。

MMC(SD) を使う場合、ここにソケットを
取り付けます。ヒロセ製 DM3AT-SF-PEJ
もしくは DM3AT-SF-PEJ2 などが適合しま
す。



MMD(SD)カードソケットを取り付けた後
付属の0.1uF をとりつけてください

4 動作方法

VCC-GND 間に 3.3V ~5V の電圧を供給します。ただし、MMC(SD)カードを使用する場合には 3.3V のみを供給してください。

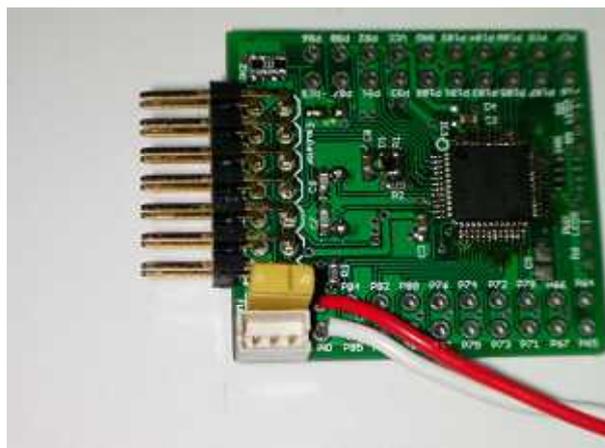
4.1 エミュレータ(E8/E8a)による動作方法

写真のように Emulator 部分にピンヘッドを取り付けてください。



4.2 シリアル通信による書き込み

図の部分に FW の部分にピンヘッドとジャンパピン、その下の GND,RX,TX にボードの動作電圧と同じ電圧レベルのシリアル信号を入力します。



詳しい書き込み方法、書き込みソフトウェアは Renesas の HP をご覧ください。

注意：上記 2 つの使用方法は排他的にしか利用できません。最悪の場合、エミュレータ、シリアル I/F を破損する恐れがあります

詳しい資料は Renesas のホームページにある M16C/26 グループハードウェアマニュアルをご覧ください。

2009/8/13

初版